



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
3/31 (月)	+ 1,500	+ 9,800	+ 11,300	国庫短期証券発行償還 (3M) 各種財政資金の支払い	CP等買入 ▲ 2,000 社債等買入 ▲ 100 国債補充供給 + 2,900		日：小売売上高 (2月)
4/1 (火)	トン	▲ 12,000	▲ 12,000	国債発行償還 (2年)			日：日銀短観 (3月調査) 欧：ユーロ圏製造業PMI (3月) ユーロ圏CPI (3月)
4/2 (水)	トン	▲ 15,000	▲ 15,000	法人税・消費税・保険料繰上 普通交付税	共通担保 ▲ 8,000		日：マネタリーベース (3月)
4/3 (木)	+ 1,000	▲ 3,000	▲ 2,000				欧：ユーロ圏サービス業・総合PMI (3月) 米：貿易収支 (2月)
4/4 (金)	トン	▲ 26,000	▲ 26,000	国債発行 (10年)			米：FRB/パウエル議長の講演 雇用統計 (3月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比4,300億円減少の521兆8,000億円から始まった。その後、国債償還等の要因により増加し、28日は529兆7,500億円（速報）で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初0.476%から始まり、その後も横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~3W物0.481%~0.69%のレンジ、1M~3M物0.48%~0.74%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では4月1日に日銀短観（3月調査）が発表され、海外では4月1日にユーロ圏CPI（3月）の公表、4日に米雇用統計（3月）の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.47 ~ 0.478
1M	0.55 ~ 0.70
2M	0.55 ~ 0.75
3M	0.58 ~ 0.80
6M	0.65 ~ 0.90

<レポ>

足許GC取引は週初から週央まで+0.48~+0.49%の狭いレンジで出合い。27日は引けに+0.43%まで低下した。取引が月末過ぎとなる28日は、前場は+0.35%~+0.30%が出合いの中心、後場引けには+0.20%近辺まで低下した。

SC取引は2年460~468回債、5年155~177回債、10年355~370回債、20年110~130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40台
CP 3M	0.60 ~ 0.70

<CP>

今週の入札発行総額は約2兆1,000億円で、週間償還額の5兆6,400億円を下回り、大幅な償還超となった。発行残高は先週末時点の24兆8,993円から、3月27日時点で24兆3,716億円で減少した。発行市場は、石油製品、電気機器、食料品、不動産業、その他金融業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、a-1格相当の1か月物で0.50%台前半から0.50%台後半、3か月物は0.60%台半ばから0.60%台後半での発行気配が見られた。

来週の償還額は5,700億円となっている。発行市場は、期明けの調達再開が始まり、発行超が見込まれる。発行レートは、1か月物で0.50%台前半から0.50%台後半、3か月物で0.60%台半ばから0.60%台後半と、横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

28日の3M（1296回債）の入札は、最高落札利回り0.3472%（前回債0.2990%）、平均落札利回り0.2934%（前回債0.2898%）となった。

来週の入札は4月4日に3Mが予定されている。